

# HT(BT-600)を TALOS-NEX で利用するにあたって

弊社 POS システム TALOS-NEX(以下、NEX)をご利用頂き、誠にありがとうございます。

本セットアップはキーエンス社製の超小型ハンディターミナル、BT600/BT500 を、NEX で使用するためのプログラムです。

使用する機種毎に、通信用クレードルのインストールが必要になります。

## 【概要】

本セットアップでは、以下の項目について説明致します。

- ・ 棚卸用ライブラリのインストール
- ・ 通信用クレードルドライバのインストール
- ・ TALOS-NEX 通信設定
- ・ HT 初期設定
- ・ 棚卸用ライブラリデータの送信

通信用クレードルは、接続の指示が表示されましたら、POS 端末用の PC へ接続をしてください。

## 【HT 用プログラムのダウンロード】

[タロスオンラインマニュアル](https://aspsv1.talos-net.com/webposserviceCss/talos_nexmanual/index/talosindex/indextop.html)からダウンロードが可能です。

[https://aspsv1.talos-net.com/webposserviceCss/talos\\_nexmanual/index/talosindex/indextop.html](https://aspsv1.talos-net.com/webposserviceCss/talos_nexmanual/index/talosindex/indextop.html)

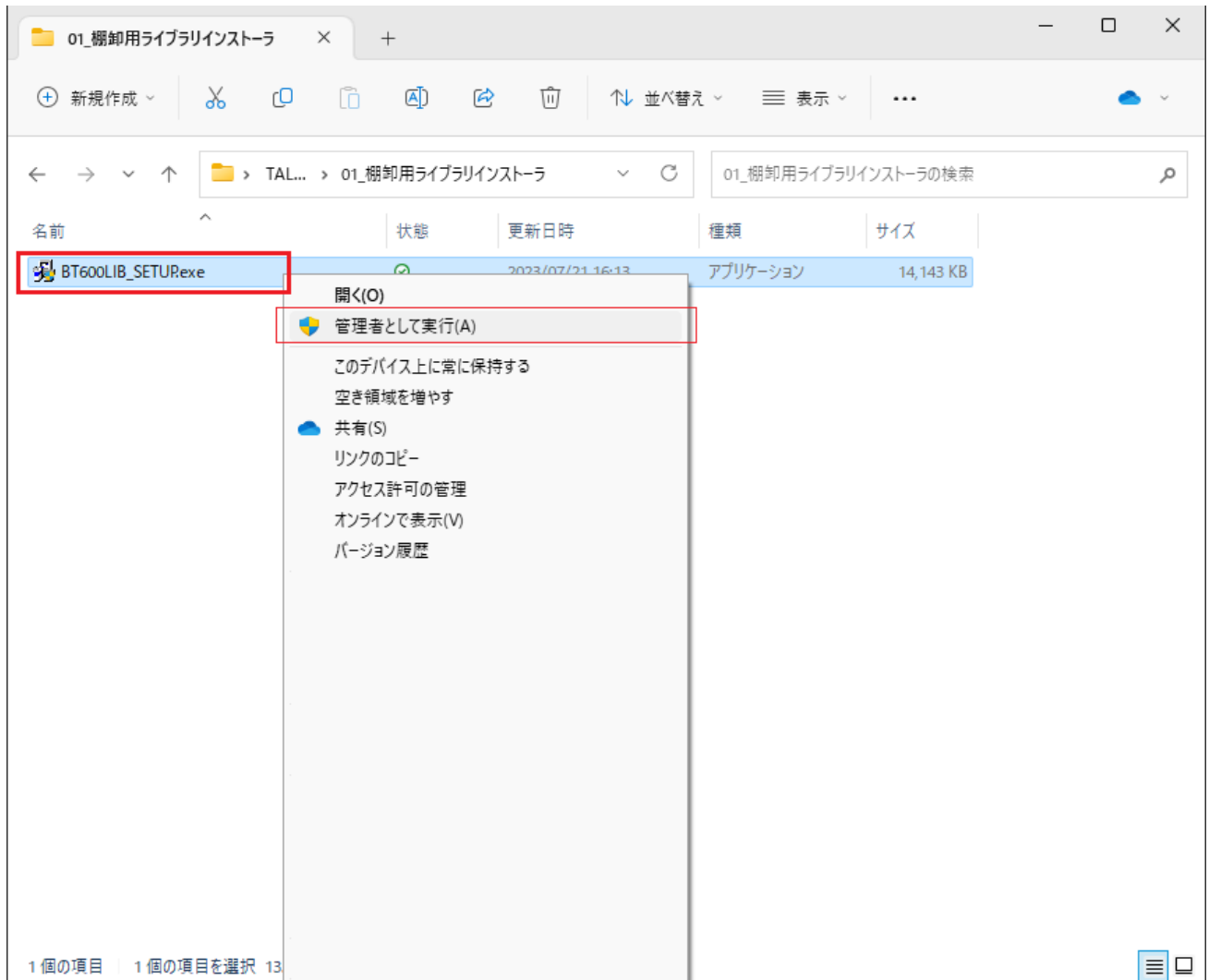
## 【手順】

### (1) 棚卸用ライブラリのインストール

「01\_棚卸用ライブラリインストーラ」 > 「BT600LIB\_SETUP.exe」

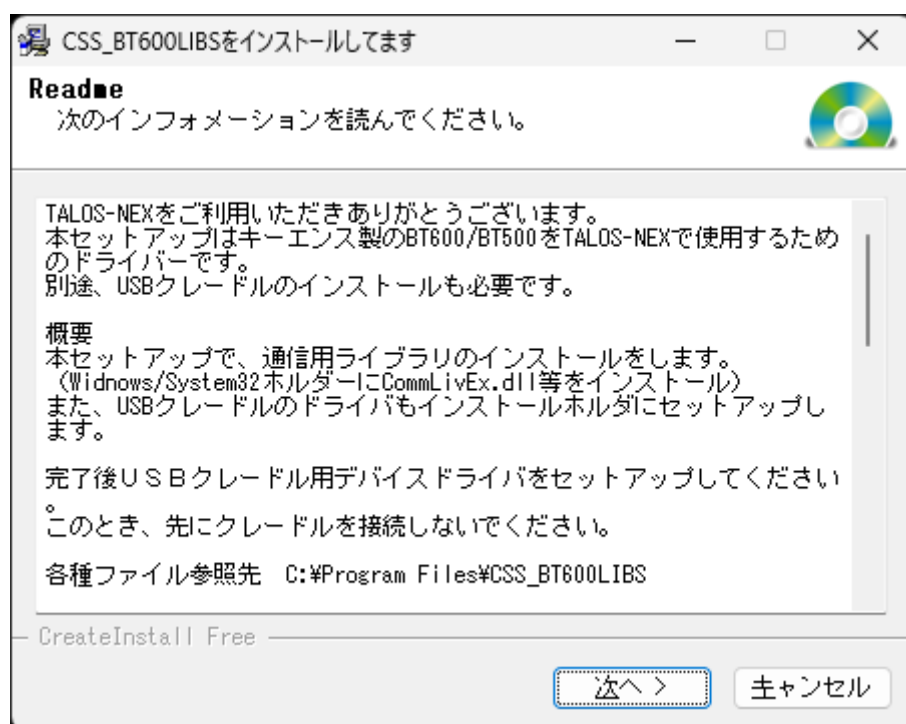
右クリックして「管理者で実行」を選択します。

※このプログラムは、BT-500,BT-600 の両方に対応しています。

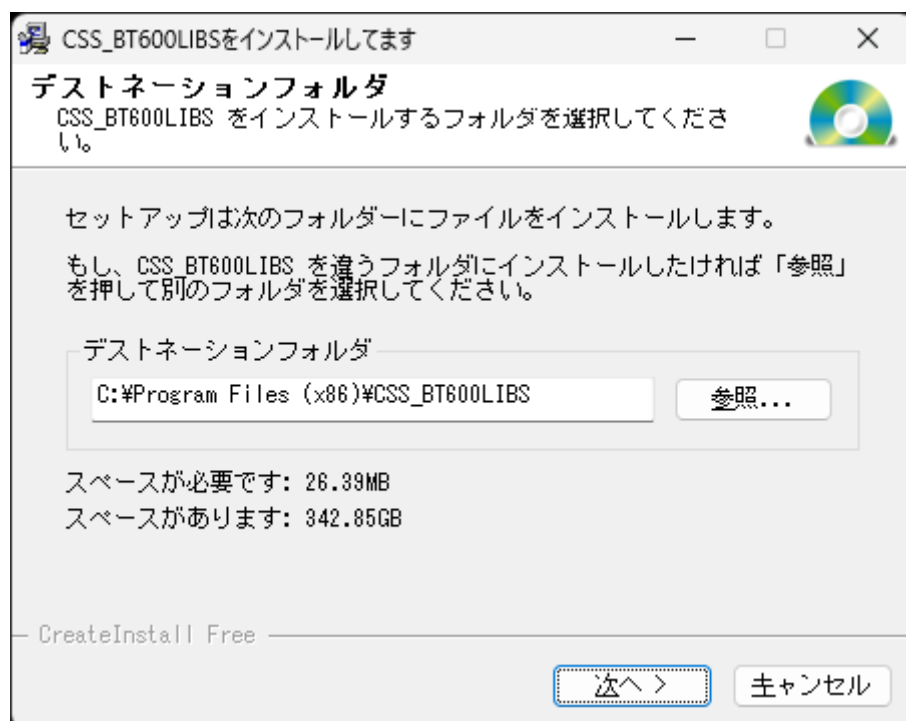


棚卸用ライブラリインストーラ「BT600LIB\_SETUP.exe」の実行

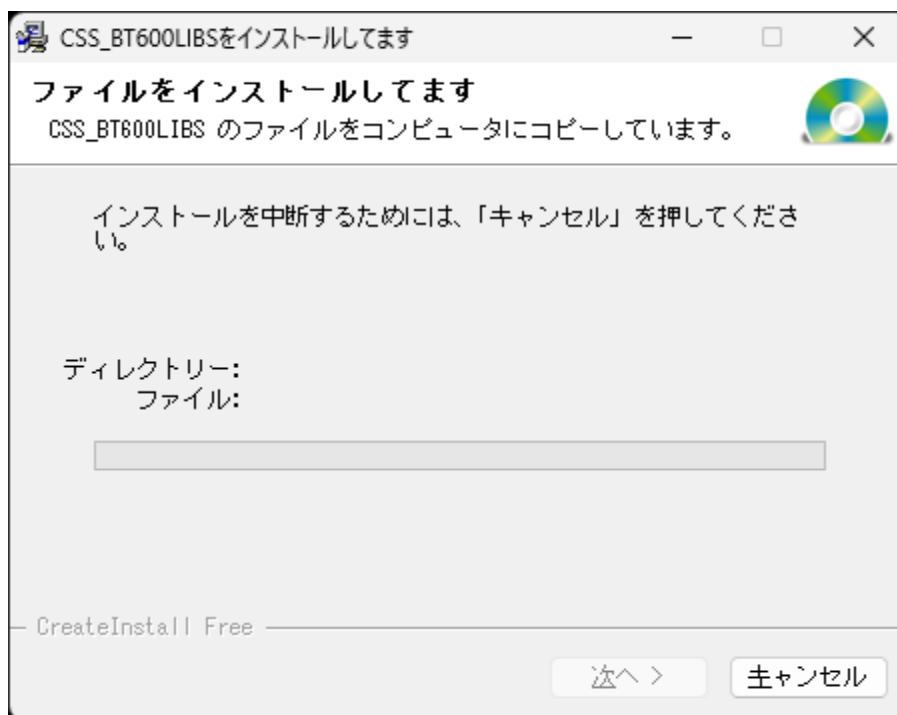
インストーラ実行時に、以下のウィンドウが表示されますので、特に変更はせず「次へ」を選択します。  
“インストーラ実行画面 01”の画像の通り、通信用クレードルと PC の USB 接続は、まだ接続しません。



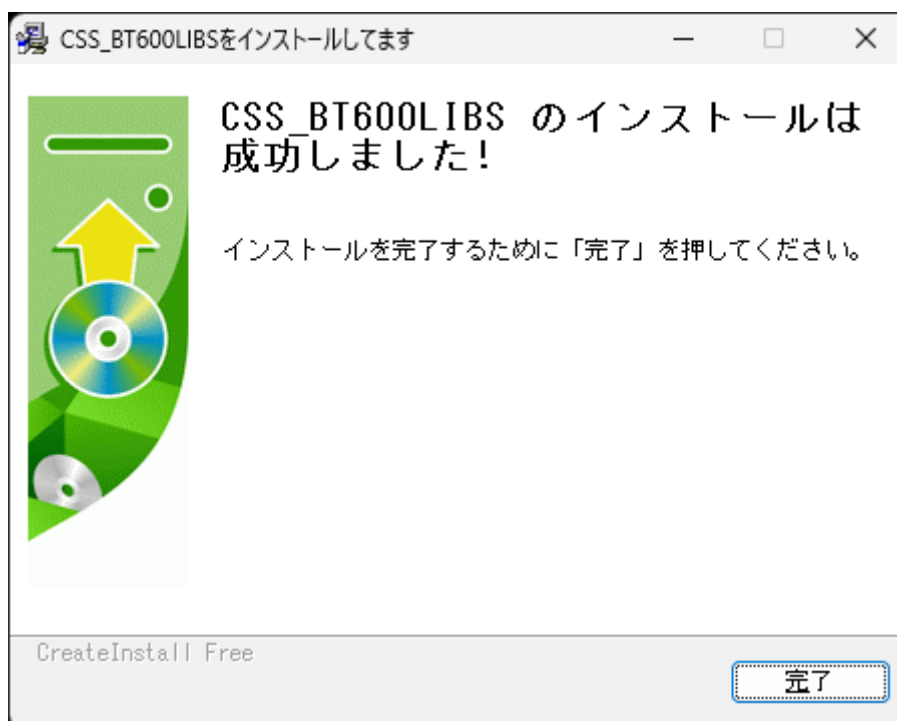
インストーラ実行画面 01



インストーラ実行画面 02



インストーラ実行画面 03



インストーラ実行画面 04

## (2) 通信用クレードルドライバのセットアップ

「02 通信用クレードルドライバ」フォルダ内に配置した、それぞれの OS、機種に対応したプログラムを実行します。

### ・ Windows10 以前の OS の場合

[Windows 7,8,10]>[USB ドライバ(BT-UC6U)\_142]

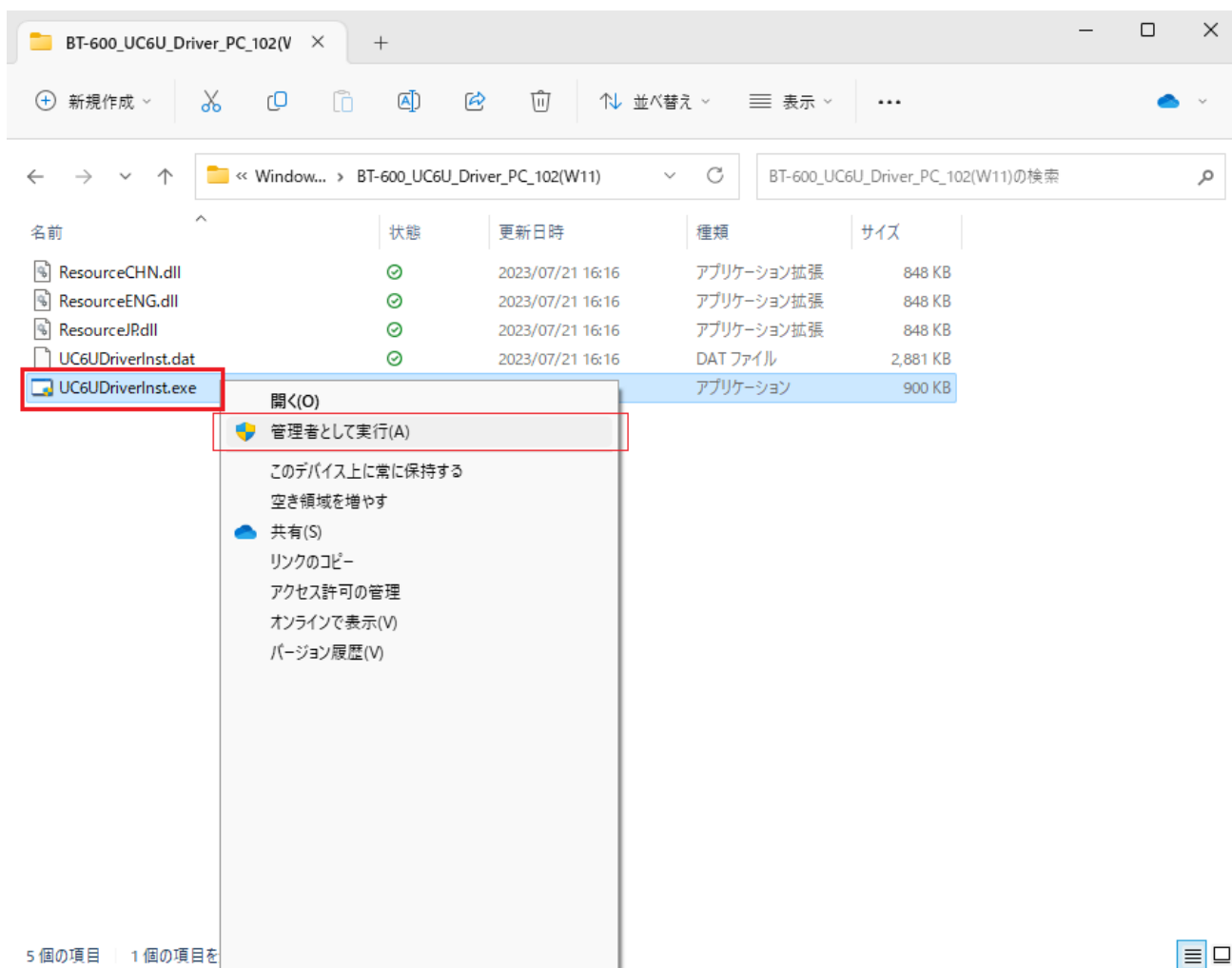
上記フォルダ内の「UC6UDriverInst.exe」を右クリックして「管理者で実行」を選択します。

### ・ Windows11 の場合

[Windows 11]>[BT-600\_UC6U\_Driver\_PC\_102(W11)]

上記フォルダ内の「UC6UDriverInst.exe」を右クリックして「管理者で実行」を選択します。

それぞれ実行中に接続の指示がありますので、PC へ USB 接続をします。

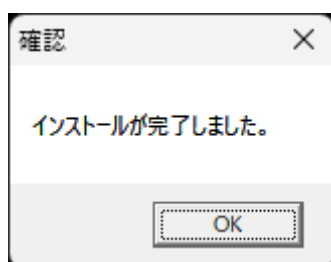


通信用クレードルドライバインストール(Windows11)

通信用クレードルドライバ実行すると、PC への接続指示がありますので、USB を接続します。



通信用クレードルドライバインストール画面 01

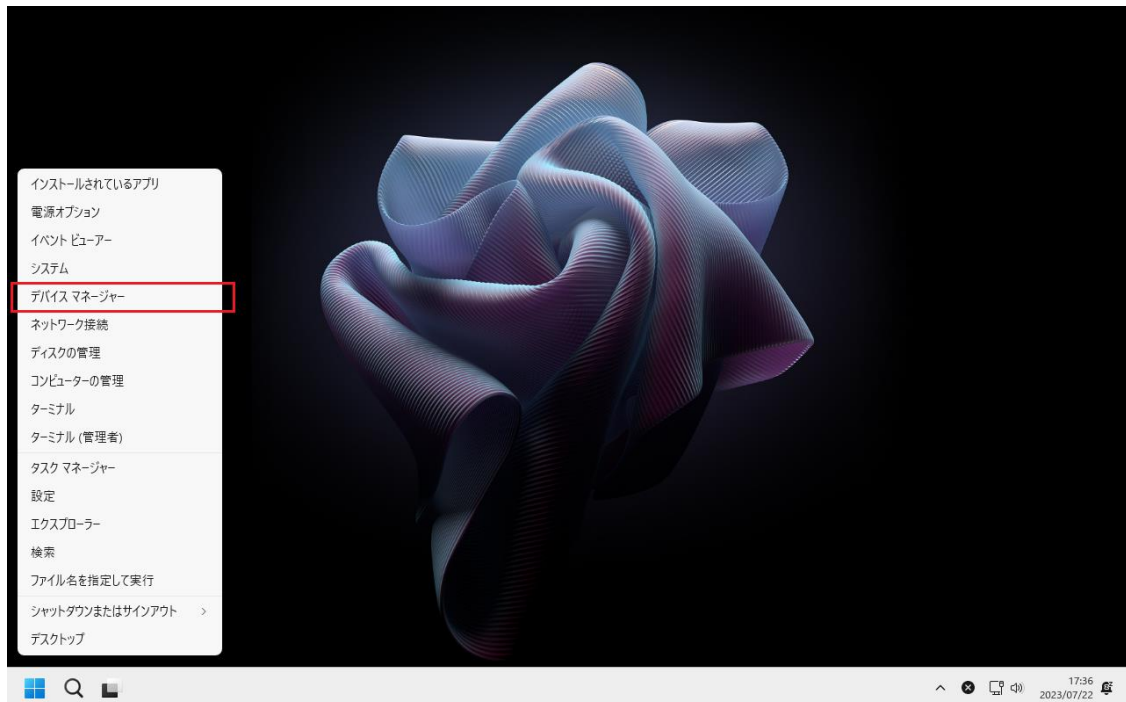


通信用クレードルドライバインストール画面 02

インストール完了後、デバイスマネージャーからクレードルの COM ポート番号を確認します。

・ Windows11 の場合

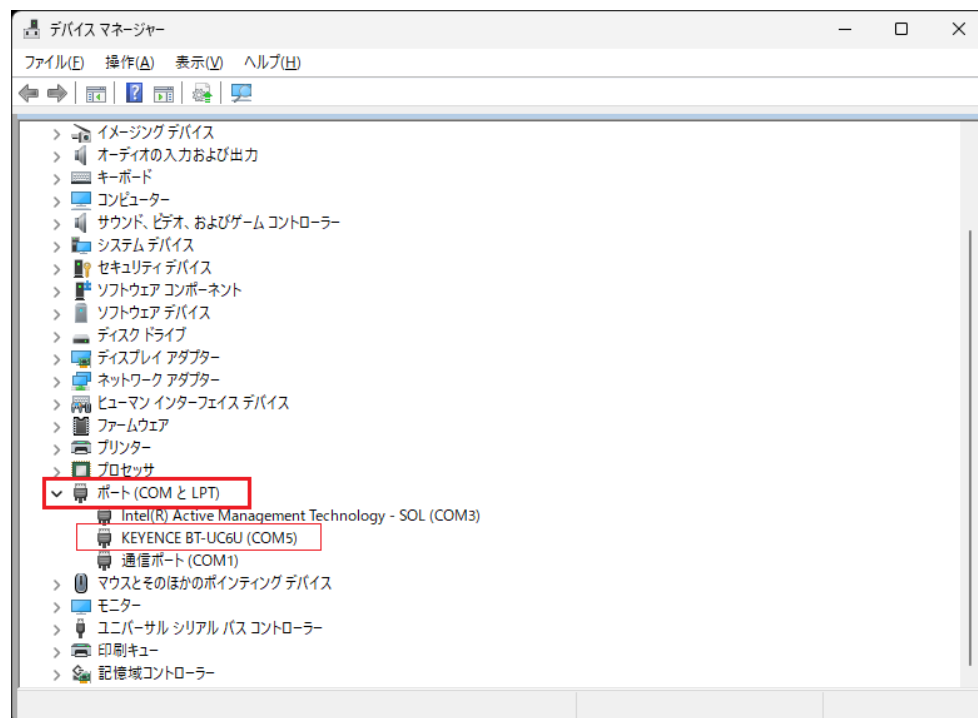
スタートのアイコンを右クリックして、[デバイスマネージャー]を選択します。



Windows11 デスクトップ画面

[ポート (COM と LTP)]の欄を展開して「KEYENCE BT-UC6U」のポート番号を確認します。

⇒以下画像だと、通信用クレードルは COM5 になりますので、NEX 側の設定もこちらに合わせます。



デバイスマネージャー画面

### (3)TALOS-NEX 通信設定

業務メニュー：【通信設定】>[ハンディターミナル設定] を選択します。

メインメニュー

オンラインマニュアル FAQ TeamViewer

業務メニュー 消耗品購入

店舗名称 20:TALOS-NEX 幕張店

担当者 店長

ハンディターミナル設定

差分データ取込

オフライン復旧処理

FTP送受信 リライトカード初期化

通信処理

PageUp/PageDown キーで業務メニューの切り替え、↑ ↓ ← → キーで処理メニューを選んでENTERキーを押してください。

F1ヘルプ F2ジョットカット F12終了

【本部送信 処理時刻:16:06】4 レコード 2 件を送信しました。

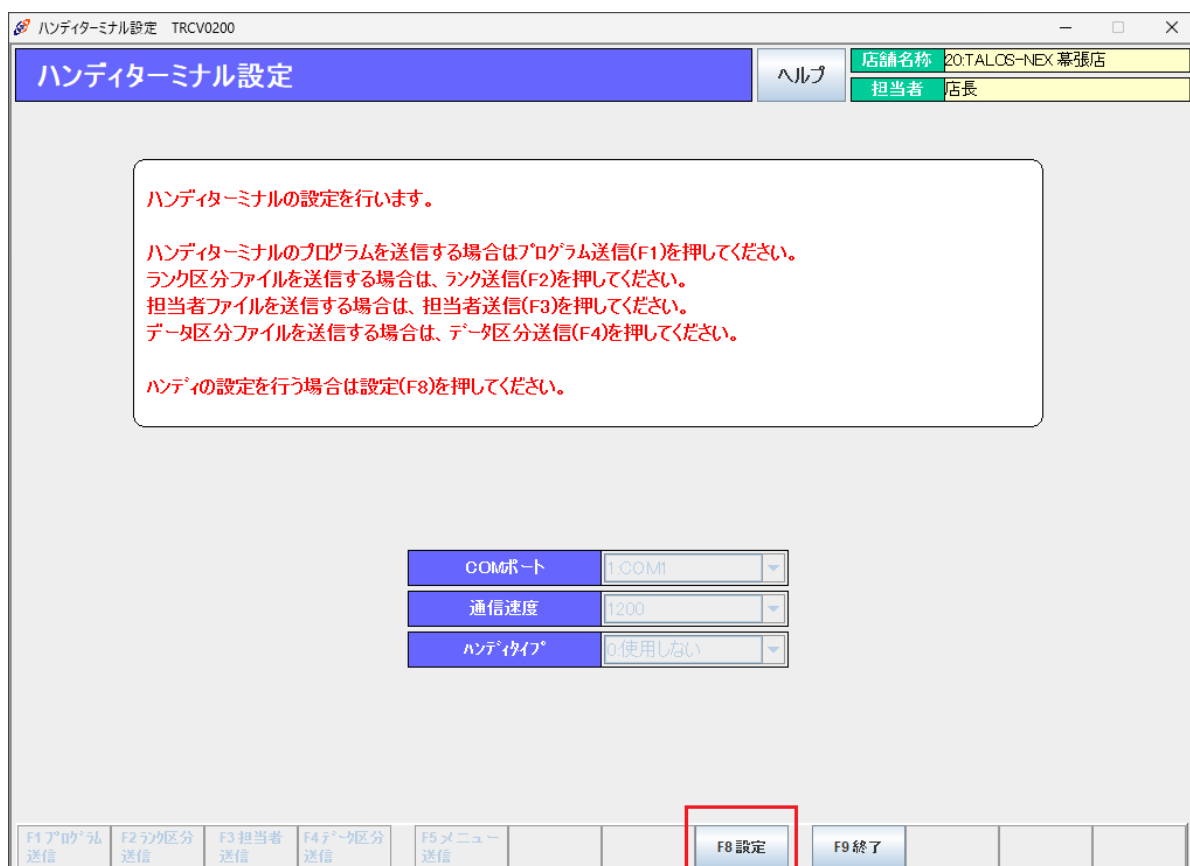
営業日 2023年2月16日(木) 端末 1:開設済

2023年7月22日(土) 17:58  
オンライン Version 1.3.94

TALOS-NEX メニュー選択画面



[F8 設定]を選択し、ハンディ環境画面設定を呼び出します。



ハンディターミナル設定 TRCV0200

ヘルプ

店舗名称	20.TALCOS-NEX 幕張店
担当者	店長

ハンディターミナルの設定を行います。

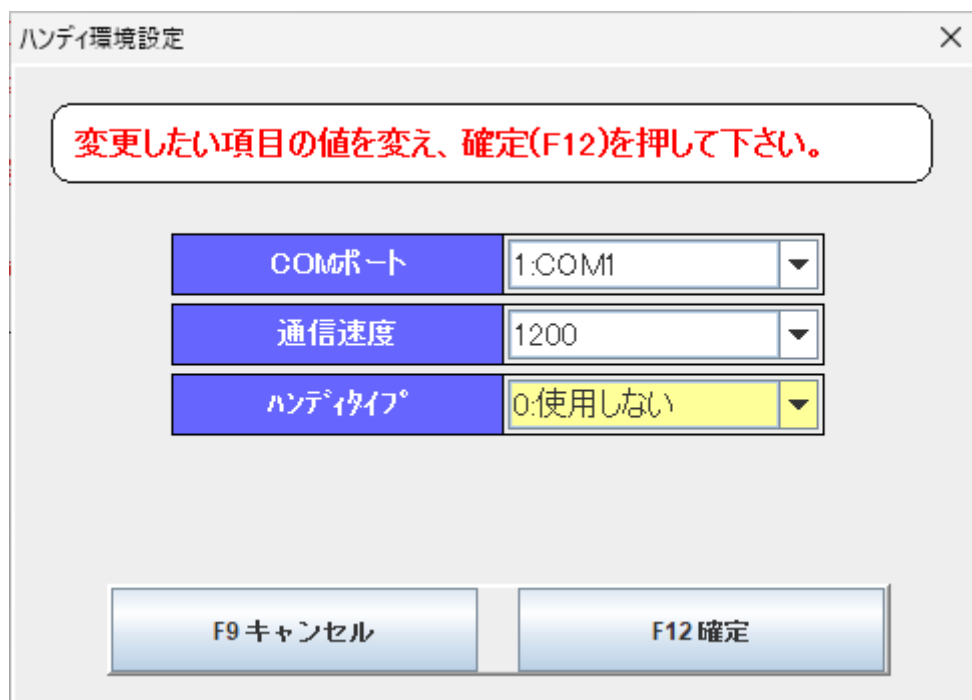
ハンディターミナルのプログラムを送信する場合はプログラム送信(F1)を押してください。  
ランク区分ファイルを送信する場合は、ランク送信(F2)を押してください。  
担当者ファイルを送信する場合は、担当者送信(F3)を押してください。  
データ区分ファイルを送信する場合は、データ区分送信(F4)を押してください。

ハンディの設定を行う場合は設定(F8)を押してください。

COMポート	1:COM1
通信速度	1200
ハンディタイプ	0:使用しない

F1 プログラム送信 F2 ランク区分送信 F3 担当者送信 F4 データ区分送信 F5 メニュー送信 F8 設定 F9 終了

ハンディターミナル設定画面(設定前)



ハンディ環境設定

変更したい項目の値を変え、確定(F12)を押して下さい。

COMポート	1:COM1
通信速度	1200
ハンディタイプ	0:使用しない

F9 キャンセル F12 確定

ハンディ環境設定画面 01

設定する機種に合わせて、設定を変更します。

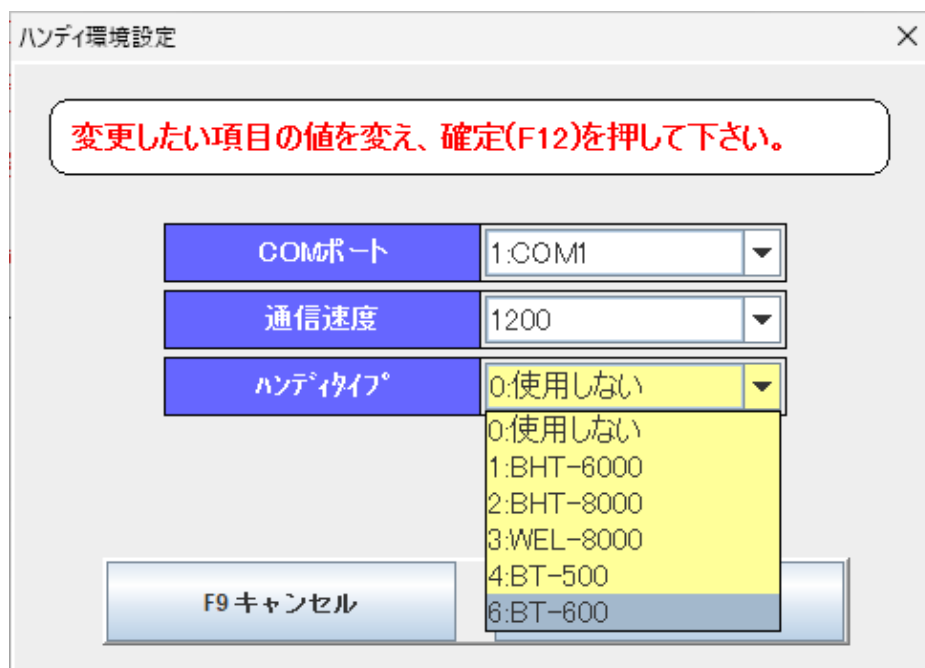
・BT-600 の場合

ハンディタイプ：6:BT-600

COMポート：②のデバイスマネージャーで確認したポート番号

通信速度：19200（kbps）

変更後、[F12 確定]を押下します。



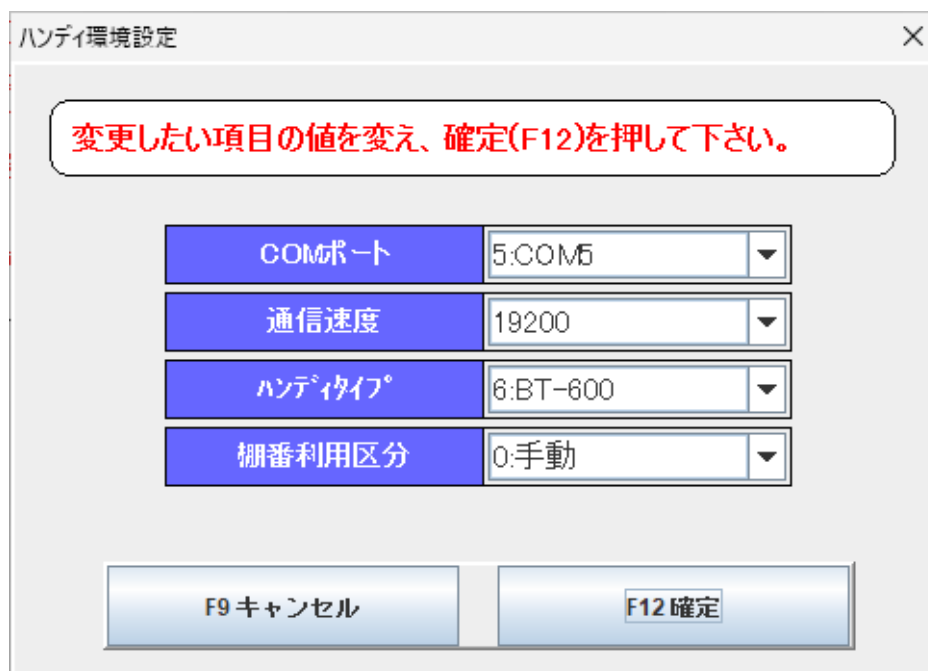
ハンディ環境設定

変更したい項目の値を変え、確定(F12)を押して下さい。

COMポート	1:COM1
通信速度	1200
ハンディタイプ	0:使用しない 1:BHT-6000 2:BHT-8000 3:WEL-8000 4:BT-500 6:BT-600

F9 キャンセル

ハンディ環境設定画面 02



ハンディ環境設定

変更したい項目の値を変え、確定(F12)を押して下さい。

COMポート	5:COM5
通信速度	19200
ハンディタイプ	6:BT-600
棚番利用区分	0:手動

F9 キャンセル      F12 確定

ハンディ環境設定画面 03

設定変更後、HT 側で初期設定を行い、通信待ち受け状態にしたら、[F1 プログラム送信]を選択します。  
HT の初期設定については、後述します。

ハンディターミナル設定 TRCV0200

ハンディターミナル設定

ヘルプ

店舗名称 20:TALCS-NEX 幕張店

担当者 店長

ハンディターミナルの設定を行います。

ハンディターミナルのプログラムを送信する場合はプログラム送信(F1)を押してください。  
ランク区分ファイルを送信する場合は、ランク送信(F2)を押してください。  
担当者ファイルを送信する場合は、担当者送信(F3)を押してください。  
データ区分ファイルを送信する場合は、データ区分送信(F4)を押してください。

ハンディの設定を行う場合は設定(F8)を押してください。

COMポート 5.COM5

通信速度 19200

ハンディタイプ 6.BT-600

棚番利用区分 0.手動

F1プログラム送信 F2ランク区分送信 F3担当者送信 F4データ区分送信 F5メニュー送信 F8設定 F9終了

ハンディターミナル設定画面(設定後)

以上で通信用クレードルの設定、PC 側の通信設定が完了となります。  
続いて、HT の初期設定を行います。

#### (4)HT 初期設定

HT を操作して、初期設定を行います。

##### ・ HT の時刻設定

Windows のシステム時刻と棚卸 HT 時刻を合わせます。

#### [ハンディターミナルの日付と時刻調整]

1、ハンディターミナルの「L」と「2」キーを押したまま電源「PW」を押下します。

2、システムメニューが表示されます



HT(BT-600)システムメニュー画面 時刻設定画面

#### [1 システム設定]→[1 デバイス設定]→「2 日付/時刻」

と選択して、**現在の日付・時刻**を確認します。

上段：年 /月 /日

下段：時 /分 /秒

例)システム時計：2023 年 7 月 24 日 10 時 25 分に設定する場合

23/07/24

10/25/00

と入力します。

分、秒単位については、大きくズレが無ければ問題はありません。

変更後、現在の日付・時刻を入力し「ENT」を押します。

「C」キーでシステムメニュー画面に戻ります。

# (5)棚卸用ライブラリデータの送信

①システムメニューから「4 通信待ち受け」→「1 待ち受け開始」を選択して、ハンディターミナルを専用台にセットします。



HT(BT-600)システムメニュー画面 通信待ち受け画面

②ハンディターミナルに棚卸用ライブラリデータを送信します。

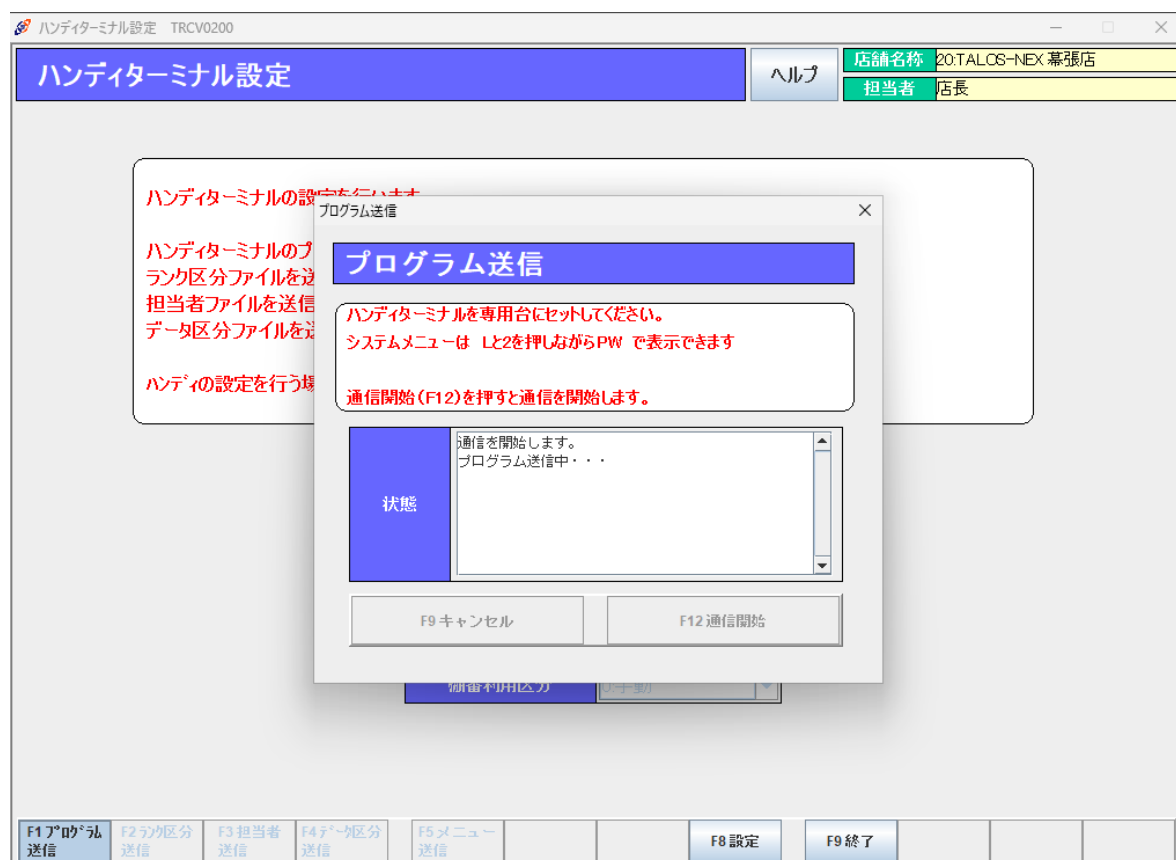
業務メニュー【通信設定】>[ハンディターミナル設定] を選択します。

[F1 プログラム送信]を選択すると、プログラム送信画面が表示されます。

プログラム送信画面で、[F12 通信開始]をクリックします。

「通信が正常に終了しました。」と表示されたら、プログラム送信完了です。

[F9 キャンセル]をクリックして終了します。



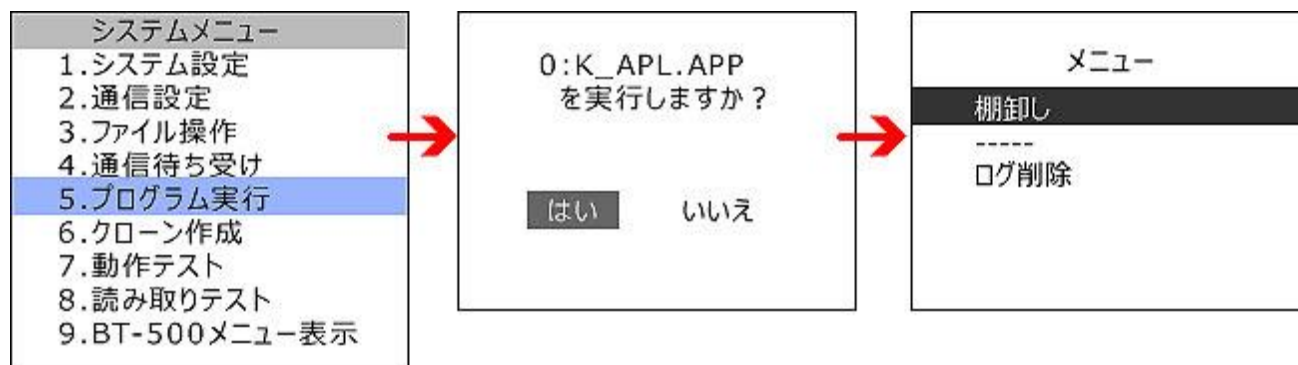
ハンディターミナル設定画面(データ送信中画面)

③ハンディターミナル側は、「C:戻る」を押してシステムメニューまで戻します。

④システムメニューから「5 プログラム実行」を選択します。

「0:K\_APL.APP を実行しますか？」と表示されますので、「はい」を選択します。

⑤棚卸しメニューが表示されます。



棚卸用プログラム実行画面